

## 第12回 RIDCマンスリー研究セミナー

「モノのやりとり」をめぐる認識の齟齬ともつれあい  
—トンガにおける他者接触の事例から—

## スピーカー

岡山大学文明動態学研究所 客員研究員

比嘉 夏子

## 日時

2022年5月18日(水)

12:00~13:00

## 場所

オンライン開催



本発表では、モノのやりとりをめぐる行為者間に生じる認識の齟齬や、そこから生起する感情について、トンガの事例を元に議論する。ある「モノのやりとり」を、行為者は贈与・交換・交易・売買などのいずれの行為として認識し、どのように位置づけるのだろうか。行為者間の関係性や行為の文脈がそもそも自明な場合もあるが、状況によってそれは不明瞭であり、そのことによって認識の齟齬が生じる可能性がある。ここでは西洋接触期(18-19世紀)の文献資料に基づいて、トンガに来島した西洋人とトンガ人とのモノのやりとりの諸相を読み解き、交易の論理と贈与の論理がもつれあうさまを明らかにする。最後に、一連の事例を参照しつつ、こうした行為と認識の小さなズレが、「他者性」や「共同性」を浮かび上がらせることを論じる。

お申し込み先

<https://forms.gle/HwnHTsMMdHXas5Dh8>

お申し込み締め切り

5月17日 12:00

お問い合わせ先

文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



\*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。